

はっとこどもえん えんだより 2023ねん

6期：12月1日～1月8日



社会福祉法人 種の会

絵：4歳児（クリスマスツリー）

幼保連携型 認定こども園 はっとこども園

〒657-0855

神戸市灘区摩耶海岸通2丁目3-14

TEL：078-805-3810

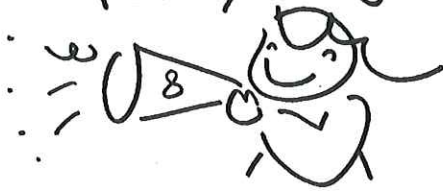
FAX：078-805-3820

携帯：080-3033-1952

Mail：hat@tanenokai.jp URL：<http://www.tanenokai.jp/>

種の会 法人本部Mail：tanenokai@jupiter.ocn.ne.jp

ねんらくします



- ★ 12月29日（金）～1月3日（水）は、冬期休暇です
（1号認定の方は、12月27日（水）～1月5日（金）が冬季休暇期間です）
年末は12月28日（木）まで、年始は1月4日（木）からスタートです。
その他お休みの方は、家庭保育のご協力をお願いいたします。

- ★ 冬場の屋外での服装について
フードやジッパー付きの上着は、危険ですのでご遠慮下さい。
外に出る際には、トレーナーで調整していきます。

- ★ 健診について
眼科健診は、12月4日（月）に予定しています。
対象：4・5歳児（3歳児は3歳児健診で受診する為、ありません）

- ★ 行事カレンダーについて
毎月15日に来月の行事カレンダーを発行しております。2週間前の発行になりますので、行事の追加や変更があることもございますが、ご了承ください。



☆日本の文化と園の文化☆

園長 ^{かたやま} 片山

秋の訪れ、紅葉が綺麗に彩ったかと思えば、すぐに一段と寒くなり冬の訪れを感じてまいりました。年々、春と秋の期間が短く、夏と冬の期間が長くなっている傾向にあるようです。私たちの子どもや孫の時代、地球はどうなってしまうのでしょうか・・・。

さて、コロナウイルスによる行動制限が解除され、忘年会を盛り上げて楽しもうとされている方もおられるのではないかと思います。このお馴染みの恒例行事、実は日本独特の文化であることをご存知でしょうか。

忘年会は、読んで字のごとく、今年あった苦労は年内に忘れ、新年をすがすがしい気持ちで迎えるために行なわれる宴会で、宗教的な由来は特に存在しません。現代の人々には浸透した行事となっていますが、そもそも時は室町時代まで、さかのぼり、『年忘れ』と呼ばれる会が起源と言われています。しかしこの会は、今の忘年会の趣旨とは異なり、貴族や武士などが連歌を読み合い、優雅に年末を過ごす厳かな会だったようです。やがて江戸時代になり、忘年会は『庶民がその年の慰労に杯を交わし、お祭り騒ぎをする』という風習へ変化していったようです。一方、武士階級は年末の忘年会を行わず、年始に『新年会』を開き、階級の差を示したとも言われています。忘年会が年末の恒例行事として本格的に広がり始めたのは、明治時代以降です。当時は主に官僚や学生を中心に行なわれていたようで、官僚はボーナスが出たついでに、みんなでパーっと飲もうという流れから、学生は年初めに帰郷する者が多いので、集まれる年末に宴会をしようという理由から始まり、定着していったようです。昭和時代になると、企業で開催されることが多くなりました。戦後に人気だったのが、温泉地で行なう忘年会旅行、ホテル宴会やお座敷宴会など大規模なものだったようです。それまで男性が中心だった忘年会ですが、70年代半ば頃からは、女性の社会進出が増え、女性が積極的に忘年会に参加するようになり、現在の忘年会のスタイルが確立されました。令和の時代はどうでしょう。

今年、東京商工リサーチが4700社に調査したところ、60%以上の会社では忘年会予定がある一方、アンケートでは29%が「ニーズがない」「プライベート重視」のため「職場の忘年会に参加したくない」と答え、「無理強いすると労働時間にカウントされるのではないか」という懸念を持つ企業もあり、控えるところもあるようです。

個人的には、コミュニケーションを図る目的での忘年会は大切だと思っていますが、子育て世代の参画方法を含め、どうやら岐路に立たされているように感じます。

忘年会に限らず、年賀状などもデジタルの波にさらされ、アナログの文化は衰退を辿っています。働き方改革の観点からも見直していくことが必要なのかもしれません。

私自身子どもの頃、大人中心の忘年会に参加した時の記憶があり、大人が「はしゃぐ姿」を見て、面白い場であったという記憶があります。園の文化についても子ども中心に考えつつ、時代の変化とともに進化することを受け入れ、理解・納得しようと努め、あらたな形を模索していくことが問われている気が致します。

保育参加から

副主幹教諭 福山 ふくやま

先月はお忙しい中、乳児クラスの保育参加にご参加いただきありがとうございました。

園でのお子様の様子はいかがでしたか？おうちでの様子とはまた違った一面も見られたのではないのでしょうか。保護者の方の手をずっと握っていたり、逆にあっさりとしていつものように遊んでいたりと、お友達のお父さん、お母さんにいっぱい甘えた子など、いろいろな子ども達の様子がみられました。そんな子ども達を温かい眼差しで見守ってくださったり、たくさん話しかけて下さったり、触れ合ってくださいありがとうございました。保護者の方にとっても、子ども達にとっても豊かな時間になったと感じます。

また、おひさま組・なぎさ組の園での生活の様子や流れもよくわかっていただけたと思います。乳児の子ども達は、活動よりも生活を中心に過ごしています。時計をみて意識することが難しい子ども達が、少しでも見通しが持てるようにルーティンを大事にしています。朝のサーキットでも、♪ぞうさんが流れたらサーキットはおしまいという場面を見ていただいたと思います。サーキットが終わったらお集まりをする・お外から帰ったら手を洗う・ごはんが終わったらお昼寝するなど、毎日の決まった日課を積み重ねていくことで、子ども達の見通しを持つ力を育み、見通しを持てることで安心して過ごせるようになります。

その中で、保育者や友達と愛着関係を築いたり、心身の発達を促したりすることに繋がっています。これからも、子ども達が安心して過ごせる環境や言葉がけ、関わりを大切に保育をしていきます。

今回の保育参加期間中にご参加が難しかった方も、ご都合がつかましたらどうぞ職員までお知らせください。たくさん子どもや保育者と関わって頂ければと思います。引き続きお待ちしております。





〇さい
おひさまぐみ

かじはら すえぐち
梶原 未口
たたら いずみ
多々良 泉

〇歳児 6期 (12月1日~1月8日)

冬を味わう期

- 【ねらい】 冬の季節の移り変わりを感しながら戸外で身体を動かして遊ぶ
お友達を意識しながら過ごす
- 【うた】 ♪あわてんぼうのサンタクロース ♪お正月
♪雪のペンキ屋さん
- 【わらべうた】 ♪げんこつ山のたぬきさん ♪えんやらりんごの木
♪このここのこ
- 【領域活動】 絵の具(赤色)・紙遊び・粗大遊び
- 【食育】 ホットケーキ(12月) みかん(1月・仮)
- 【異年齢活動】 クローバーデー・乳児交流



お友達が増えたよ

11月から、〇歳のお友達が新しく3人入園し、おひさま組は1歳児15名、〇歳児6名の計21名になりました。朝は泣いてしまうこともありますが、好きな遊びやお気に入りのおもちゃを見つけて、笑顔で過ごせる時間がぐんと増えてきています。おもちゃを振って音が鳴るのを楽しんだり、小さなおもちゃをつまんで容器の中に落としたり、つたい歩きやずり這いで移動して探索活動を楽しんだりしています。11月までおひさま組で過ごしてきた子ども達も、泣いている子がいると頭を撫でてあげたり、オーガンジーを使って「じーじーばー」を一緒にしたり、顔を見合わせて笑ってみたりと、興味をもって関わろうとする様子があります。

また、〇歳児だけで活動する時間も増えました。お友達と一緒にボールを追いかけハイハイをしたり、手を繋いで喃語で何やら楽しそうにお喋りをしたりする姿が見られます。これからも、子ども達みんなが楽しく安心して過ごすことができるよう、一人ひとりの思いをくみ取って受け止め、丁寧に関わっていこうと思います。



ご飯が美味しいね!

“いただきます”と手を合わせ、「おいしい」と、笑顔を見せながら楽しそうに食事をしている子ども達。自分でスプーンを持って食べたい子、指を差して食べたいものを教えてくれる子など、様々な姿が見られます。お友達が「ぴっかりん」と綺麗になったお皿を見せているのを見て、“自分も”と大きな口を開ける子もいます。子ども達の生活リズムを作っていく中で、食への意識が高まるように、声掛けや雰囲気づくりも大切にしていきたいです。





1さい
おひさまくみ

かじはら すえぐち
梶原 未口
たたら いずみ
多々良 泉

1歳児 6期 (12月1日~1月8日)

冬を味わう期

- 【ねらい】 冬への移り変わりを、歌や戸外遊びを通して感じる
友達と一緒に遊ぶことを楽しむ
- 【うた】 ♪あわてんぼうのサンタクロース ♪お正月 ♪雪のペンキ屋さん
♪コンコンクシャン など
- 【わらべうた】 ♪げんこつ山のたぬきさん ♪えんやらりんごの木
♪このここのこ など
- 【領域活動】 シール貼り・表現遊び・紙遊び・クレヨン・絵の具 (赤・黄)
- 【食育】 ホットケーキ (12月) みかん (1月) (仮)
- 【異年齢活動】 クローバーデー・乳児交流



秋をみつけたよ



5期ではたくさんお散歩に行きました。最初は友達や保育者と手を繋いで歩くことが難しかった子ども、自分達で歩いてお散歩が出来るようになってきています。つい友達と手が離れてしまっても、子ども達同士で「手を繋ごう」と誘い合って手を繋ぐ姿があり、子ども達同士のやり取りが増えてきています。





















































お絵描きをし手作りしたバックを持って散歩に行くと、たくさんのだんぐりや落ち葉を集めていました。「先生みて」と、だんぐりや落ち葉がたくさん入ったバックを見せてくれました。穴が開いている落ち葉を見つけると顔に付けて「おばけだぞ」と言ってみたり、「だんぐりころころだんぶりこ」と、歌いながらだんぐりを転がしたり、子ども達なりの楽しみ方で自然物に触れ、秋を感じていました。



園庭遊び

5期では気候が穏やかになり、園庭でもたくさん遊びました。最初は総合遊具の網階段や丸太橋を渡るのが怖かった子ども、何度も挑戦していくなかで一人で渡りきる事が出来るようになってきています。築山では、蝶々を探している子ども達の姿がたくさん見られました。「ちょうちょ！」と指差しをしていたり、歌を歌いながら蝶々になりきって手を動かして楽しんだり。見るために「しー」と言いながらそっと近づいて見たりしている姿も見られました。6期でもたくさん戸外に出て、いろいろな物を見たり、触ったり挑戦したりできるように関わっていきたいと思います。

【6期】冬を味わう期（12月1日～1月8日）

																
	【テーマ】	冬の行事を楽しもう・冬への移り変わりを歌や戸外遊びで感じよう														
	【室内活動】	はさみ（1回切り）・絵の具・のり・米粉粘土 など														
	【うた】	♪あわてんぼうのサンタクロース ♪おもちゃのチャチャチャ など														
	【わらべうた】	なべなべそこぬけ・おせよおせよ など														
	【集団遊び】	かごめかごめ・あーぶくたった・表現遊び														
	【戸外活動】	園庭遊び・散歩（HAT内・近隣の公園）※気温によって考慮します														
	【異年齢交流】	クローバーデー・乳児交流														
		給食（幼児と一緒に少人数ずつ食べていきます）														
	【栽培】	にんじんを育てよう（水やり・間引き・追肥）														
	【食育】	りんご（12月） 冬野菜（1月）※変更する可能性があります														
																

秋の自然にたくさん触れたよ！

5期ではアメンボ公園やパンダコアラ公園にたくさん散歩に行きました。散歩には子ども達がシールを貼って作った手作りの鞆を持って行き、どんぐりや葉っぱ、木の枝などをたくさん拾いました。「こっちは小さい！」「まだ緑だね」「茶色のきれいなやつあった！」など、拾ったものの色や大きさについても子ども同士で会話をしながら見つけていました。みんなで拾ったどんぐりで、マラカスを作ったり、紙粘土で好きな形を作った上にどんぐりや木の枝を自由にトッピングしたりしました。どんぐりを並べて乗せている子、紙粘土の中に入れていく子、木の枝を蠟燭に見立てている子などイメージしたものを作る楽しさを感じている子ども達でした。

また葉っぱに見立てた画用紙で紐通しをして遊びました。子ども達の作品で秋らしいお部屋になりました。



冬の寒さを感じよう！

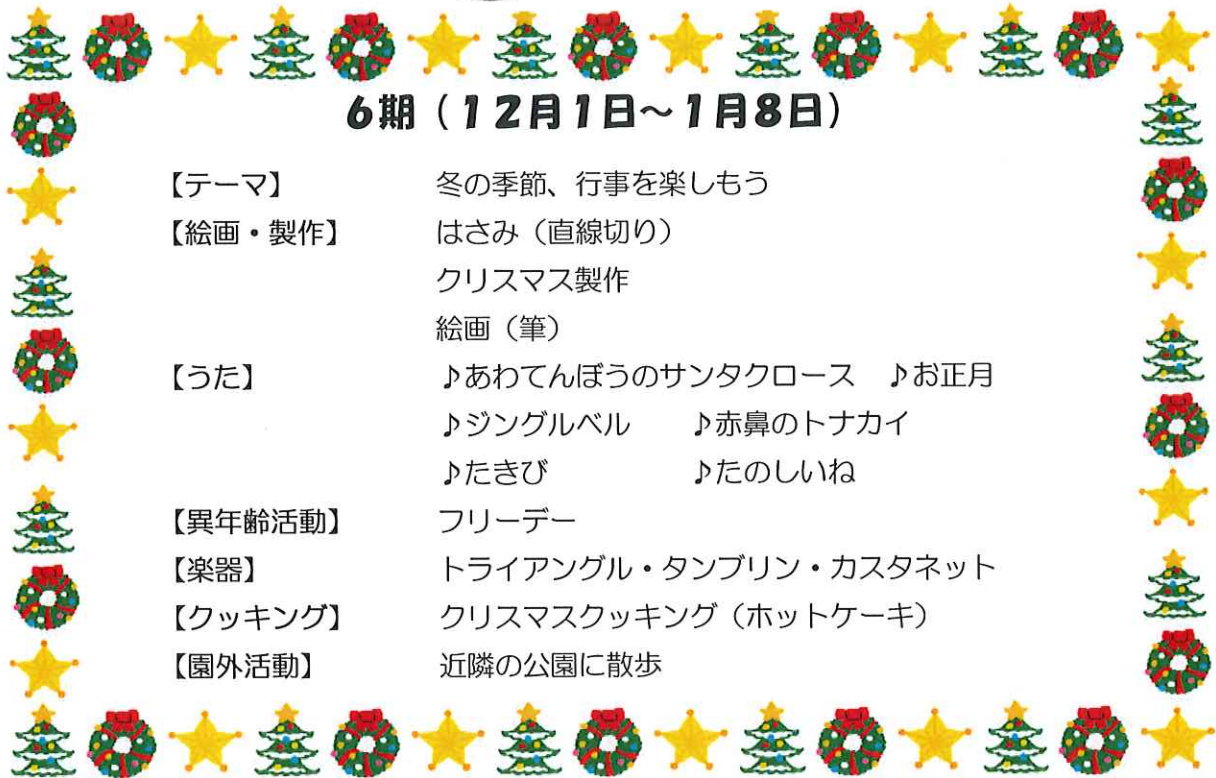
風が冷たくなり、一気に季節は冬になろうとしています。6期は気温も低くなり寒くなりますが、薄着を心がけていきたいと思います。

戸外遊びを通して冬の寒さを感じながら寒さも吹き飛ばす勢いで身体をたくさん動かして遊んでいきます。





藤村・高橋



6期 (12月1日~1月8日)

- 【テーマ】 冬の季節、行事を楽しもう
- 【絵画・製作】 はさみ (直線切り)
クリスマス製作
絵画 (筆)
- 【うた】 ♪あわてんぼうのサンタクロース ♪お正月
♪ジングルベル ♪赤鼻のトナカイ
♪たきび ♪たのしいね
- 【異年齢活動】 フリーデー
- 【楽器】 トライアングル・タンブリン・カスタネット
- 【クッキング】 クリスマスクッキング (ホットケーキ)
- 【園外活動】 近隣の公園に散歩

秋祭りたのしかったね

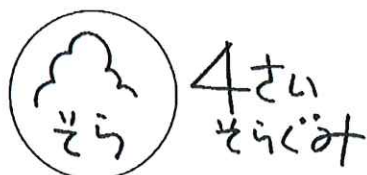
11月14日に子ども達主催の秋祭りを行ないました。にこにこグループはお化け屋敷ともぐらたたき、わくわくグループはワニワニパニック、るんるんグループは宝探し、きらきらグループは金魚すくいをしました。どんなお店屋さんにするのかを1から子ども達同士で話し合い、作っていく中で様々な経験をしました。「どうしたらお客さんに楽しんでもらえるだろう」と実際にお客さんとお店屋さんになってやってみて、振り返りをしたり、かもめ組・そら組と力を合わせて製作物にも取り組んだり、回数を重ねていくうちにお祭りへの期待も上がっていました。お祭りの当日も責任を持って役割を果たし楽しんでいました。

衣装作り



パンダコアラ公園にお散歩に行き、落ち葉や木の実をたくさん拾って衣装を作りました。公園では「見て赤色の葉っぱみつけたよ」や「きれいな葉っぱあっちにいっぱい落ちてた」など葉っぱをたくさん拾っていた子ども達。袋いっぱい詰めて帰り、衣装を作りました。葉っぱを耳に見立ててみたり、木の実でほっぺを作ってみたりと個性豊かな衣装が出来ていました。





樹中

6期(12月1日~1月8日)

- 【テーマ】 クリスマス・お正月
- 【製作】 クリスマスツリー作り・福笑い
- 【うた】 ♪あわてんぼうのサンタクロース ♪赤鼻のトナカイ
♪ジングルベル ♪お正月 ♪ゆげのあさ
- 【農育】 チューリップ・冬野菜の水やり、追肥、雑草抜き、寒さ対策
- 【クッキング】 クリスマスクッキング
- 【楽器遊び】 打楽器・ピアノカ
- 【異年齢活動】 散歩・フリーデー
- 【外部講師】 ダンスオブハーツ

サツマイモにたくさん触れたよ

春から育てていたサツマイモの芋掘りすることを楽しみにしていた子ども達。「お芋大きくなっているかな?」と、ドキドキしながらみんなでツルを引っ張りました。大きいものから小さいものまで、土の中からお芋が出てくると大喜びでした。収穫後はお芋のツルで「うんとこしょ!どっこいしょ!」と、綱引きが始まりました。「一緒にしよう!」と誘い合いながら何度も綱引きを楽しんでいました。

サツマイモの食育では、お芋にはたくさんの種類があることを知りました。実際にクラスで育てたお芋の他に紫芋や安納芋、鳴門金時などのサツマイモに触れました。匂ったり、大きさを比べたりして触れた後には、芋のツルをみんなで食べました。ツルも葉っぱも食べられることを知って「え!食べられるの?」と、驚いていましたが、食べてみると「おかわり!」「おいしい!また食べたい!」と、大絶賛でおいしそうに食べる姿がとても印象的でした。

スイートポテト作りでは、自分達で役割や順番を決め、砂糖や牛乳を少しずつ加えていきました。「柔らかくなってきたから完成かな?」と、分量を調節しながら作る姿が見られました。自分達で作ったスイートポテトを食べて「おいしい!」と嬉しそうな表情を見せてくれました。



フリーのせいせい

ささい
笹井

今回ははっことども園の異年齢交流についてお伝えします。

幼児では、日常生活の中で異年齢の関わりが多く見られます。給食時には一緒に給食当番を行ない、役割分担をしながら配膳をしたり、会話を楽しみながら一緒に食事をしたり、楽しい時間を過ごしています。室内遊びでは、お兄さんお姉さんが年下の子どもに机上ゲームのルールを教える姿も見られます。

先日は幼児の秋祭りがありました。グループごとに子ども達が主催となって、お祭りのブースを準備しました。ブースの内容やルールを相談して決め、そこから準備物の製作や、実際に試行し、改善点を発見するなど、子ども達の協力と頑張る姿がたくさん見られました。

「にじ組はこれできるかな」「かもめ組、そら組は楽しめるかな」と、それぞれの年齢で楽しめるような工夫を考えているグループもありました。きらきらグループは「金魚すくい」、にこにこグループは「もぐらたたき・お化け屋敷」、わくわくグループは「わにわにパニック」、るんるんグループは「宝探し」。当日は店番を交代しながらそれぞれのブースを楽しみました。店番では「ルールを説明する人」「道具を渡す人」「クリアした時にスタンプを押す人」などと、役割を決めて頑張っていました。お客さん、店番どちらも時間いっぱい楽しんでた子ども達でした。

乳児ではクローバーデイや乳児交流を通じて 0~2 歳児クラスが関わっています。最近では 0 歳児の人数も増え、年下のお世話をする姿や一緒に積み木やおままごとを楽しむ姿が増えました。2歳児が「いないいないばあ」と笑わせようとしてくれたり、絵本を持ってきて読み聞かせようと頑張ったりする姿も見られます。

また、乳幼児間でも交流があり、代表的なものとしては、「お手伝い保育」があり幼児が乳児のクラスに行き、一緒に遊んだり、午睡の寝かしつけを手伝ってくれたりするというものです。また、クラス単位の交流もしています。これからもはっことども園では異年齢交流を大切にしていきます。



お台所の先生から



こんどう とい
近藤 戸井

今年も残りあと1ヶ月です。寒さが一段と厳しくなってきましたが、子ども達は、寒さに負けず、元気に楽しく園生活を送っています。

ウイルスに負けない身体づくり

日本人の平均体温は36.89℃ですが、最近では36℃以下の低体温の人が増えてきていると言われていています。平熱を上げて、ウイルスに負けない身体づくりをしましょう。

平熱をあげるメリット

- ・免疫力アップ
- ・むくみの解消
- ・血流が良くなり冷えや肩こりの解消につながる

平熱を上げる方法

- ・食事で身体の内側を温める

生姜やニンニク、人参、かぼちゃは体を温めるといわれます。反対に果物や夏野菜などの水分が多い食材は、身体を冷やしてしまうので食べ過ぎに注意しましょう

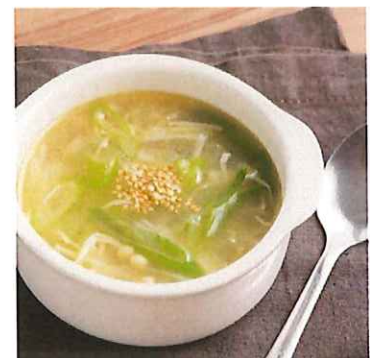
<ねぎと生姜のぽかぽかスープ>2人分

・材料

白ネギ 1本	ごま 少々
白菜 1枚	酒 大さじ1
絹ごし豆腐 1/4丁	しょうゆ 小さじ1
生姜(みじん切り) 大さじ1	塩 少々
鶏ガラスープの素 大さじ1/2	
水 400ml	

・作り方

- ① 白ネギを小口切り、白菜をざく切りにして、鍋にいれ、生姜、水を加えて強火にかける。
- ② 煮立ったら鶏ガラスープの素、酒、塩をいれ、野菜がくたっとするまで煮る。絹ごし豆腐は崩しながら加え、煮立ったらしょうゆを加える。
- ③ 火を止めて、最後にごまをいれる。





ほけんだより

看護師 榎木 なるき

今年も残すところ、あとひと月となりました。1年という時の流れの早さを感じます。気温の寒暖差が激しい日々ですが、そんな中でも子ども達は元気に外遊びを楽しんでいます。しっかり食べて、しっかり動いて、風邪に負けない抵抗力を付けていきましょう。

<12月の健診予定>

12月4日(月):眼科健診
(4歳、5歳児対象)



11月の感染症

季節性インフルエンザ14名
アデノウイルス感染症10名

インフルエンザが流行しています



気を付けたい子どもの感染性胃腸炎
(原因は違うウイルスかも)

- 生活のリズムを整え外出後は、うがい、手洗いをする。
- 早寝、早起きをする。
- 3食バランスの取れたものを食べる。
- 適度な湿度、換気を心がける。



・寒そうにしている

・暑がっている

・顔が悪い

・顔が赤い

・手足が冷たい

・汗をかいている

体温の上がりはじめ

体温が上がりきってる



<温かくする>

- 衣類を重ねたり、毛布を掛けたりして保温を心掛ける
- 温かい飲み物を摂る
- お茶や温めた果汁など

<涼しくする>

- 薄手で脱ぎやすい服装にする
- 汗をかいたら、こまめに着替えをしましょう
- こまめに水分補給をする

<気をつけること>

- 自己判断で下痢止めなどの薬は使わない(必ず医師の指示のもとで服用しましょう)
- 子どもの様子を観察し、下痢や嘔吐が続くときは、**脱水症状**に注意する
- 意識状態が悪い、けいれんなどの合併症が疑われるときは医療機関を受診する

	ノロウイルス	ロタウイルス
流行期間	11月～2月頃がピーク	3月～5月にかけて増加
注意すべき年齢	年齢問わずかかります。特に子どもやお年寄りには誤嚥による窒息に注意。	0歳～6歳の乳幼児が、かかりやすく、重症化しやすいです。
おもな症状	多くは突然の嘔吐から始まります。吐き気、嘔吐、下痢、腹痛が主な症状。	水のような白い便の下痢や、嘔吐を繰り返すのが特徴。他に発熱、腹部不快、腹痛。

体育遊び

難波

第6期は冬を味わう期です。サーキットでたくさん身体を動かして、寒さを乗り切っていきます。3歳児クラスでは前期から、たくさんの複合動作を行なってきましたので、引き続き複合的な動作をたくさん経験していきます。4歳児、5歳児クラスでは動作の安定性、リズムのよさを図っていきます。

【第6期の取り組みとねらい】

サーキット運動

○3歳児クラス

U型サーキット

- ・複合動作（・・・しながら・・・する）をたくさん経験していく。
- ・今までに行ってきた基本動作（渡る・登る・ぶらさがる・走る・跳ぶなど）を安定して行なう。

○4歳児クラス

U型サーキット

- ・複合動作①（・・・しながら・・・する、という2つの動作を同時に行なう）をたくさん経験し、動作を安定させていく。
- ・複合動作②（・・・しながら・・・して・・・する、というように、ひとつの動作に3つ以上の動きを同時に行なう）を経験していく。

○5歳児クラス

U型サーキット

- ・複合動作②（・・・から・・・して・・・する、という3つの動作を同時に行なう）を繰り返し行ない、動作の安定を図る。
- ・複合動作③（上肢は・・・しながら、下肢は・・・しながら・・・するというように、ひとつの動作に上肢と下肢を同時に行なう）を経験する。

ポイント指導

・3歳児クラス

- ・マット「前回り」⇒支持をしながら、頭を入れ起き上がりまでの動作を行なう。
- ・跳び箱「台上～開脚乗り」⇒踏切りで止まらずに続けて行なう。
- ・鉄棒「つばめ～前回りおり」⇒鉄棒で腕支持から前に回っておりる。

・4歳児クラス

- ・マット「坂付き後転」⇒坂を使って後ろに回る。着手を手の平で行なう。
- ・跳び箱「開脚とび」⇒踏み切りの強さを意識し、足を大きく開き跳び越す。
- ・鉄棒「坂付き逆上がり」⇒逆さ感覚を身につけ、身体を丸め、壁をけりこめるよう行なっていく。

・5歳児クラス

- ・マット「側転」⇒足の振り上げを少しずつ高くしていく。
- ・跳び箱「開脚とび」⇒踏み切りから着地までの動作を安定して行なう。
- ・鉄棒「逆上がり」⇒けり足と、振り上げのタイミングを合わせて回る。



保護者の皆さまへ

こども園へご意見やご相談がありましたら、いつでもお声掛けください。

また、卒園後も変わらずお待ちしております。お子様はもちろん、保護者の方も
お顔を見せて頂き、お話が出来れば嬉しく思います。

担当：橋本